

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市並木地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

当ケアプラザ担当エリアは、約40年前から入居が始まった高層集合住宅群と、戸建て住宅が広がる閑静な住宅街が存在します。街開発から30～40年以上の年数を経過し徐々に高齢化（並木1丁目で38%前後、富岡東エリアは21%前後）も進み、介護問題などが深刻度を増しつつあります。一方、身近な地域で行われるサロン活動や体操教室などの地域の福祉活動は長年継続して実施されています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために、このような地域の福祉活動が今後も継続できるよう、新たな担い手の育成などについて、地域とともに取り組んできました。

1 地域活動・交流事業

- ・地域の事業等に積極的に参画し、地域との関係をより深め、幅広く協働できるような関係づくりに努めました。
- ・自主事業や広報紙にて活動団体を登用・紹介するなど、ボランティア活動の支援・育成に努めました。

2 地域包括支援センター

- ・「個別支援から地域支援に」を意識し、地域での課題解決の醸成に努めました。
- ・関係機関とのより一層の協働により、地域の課題に対して包括的・継続的に支援を行ってきました。

3 生活支援体制整備事業

- ・地域で行われている既存の福祉活動を再確認し、活動の支援を行いました。
- ・区社会福祉協議会と協働し、地域に求められる活動について検討しました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

利用される皆さまが安心して、安全に利用できる施設となるよう、適正な管理・運営に努めました。

- 1 日常清掃や定期清掃により、施設の清潔の維持に努めました。
利用者・来館者の衛生環境向上のため、玄関およびデイルーム・トイレ出入口に吸水吸油マットの設置を導入しました。
- 2 建築基準法・消防法等の法令にもとづき適正に法定点検等を実施しました。
職員が行う日常点検と併せて専門業者による定期的な保守点検を実施しました。
- 3 法令にもとづいた建物の点検を行い、区役所へ結果を報告するとともに、整備が必要な箇所について速やかに改善を行いました。
H28 修繕実績：1階トイレ詰まり 2階空調不良 1階混合栓不具合
1階煙感知器交換 地下非常用照明交換 エレベーターバッテリー交換
- 4 施設維持管理費用については、用途にもとづき介護保険事業・指定管理事業・併設施設等で経費分担しました。

イ 効率的な運営への取組について

1 予算管理にもとづく効率的な経営

(1) コスト意識を持ち予算内で適正な運営を行うため、月次の収支状況を確認しながら経費削減や資源の有効活用を心がけるとともに、法人で行う共同購入に参加し、効率的・合理的な経営に努めました。

(2) 法人全体で経営検討を行い、執行状況を共有しました。

2 クールビズ及びウォームビズの推進やリサイクル品の活用等により、省エネと資源の有効活用に努めました。また、東日本大震災以降、継続して節電に努めています。

ウ 苦情受付体制について

館内及びサービスのご利用者及び周辺にお住まいの方からのご意見を頂くための仕組みとして苦情解決を位置づけ、適宜対応しました。

1 法人のマニュアルにもとづき、職員一人ひとりが利用者本位の視点に立って苦情解決に取り組みました。なお、本年度の苦情受付件数は0件でした。

2 苦情受付責任者及び苦情受付担当者を館内にわかりやすく掲示しました。

3 苦情解決調整委員を設置し、法人内全体で苦情を共有、改善に取り組みました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1 施設内・法人内及び行政との連絡体制を整え、緊急時の対応に備えました。施設内事故・車両事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等、緊急時対応マニュアルを整え、万が一の事故・災害発生時に備えています。

2 防災・避難訓練を2回実施しました。

9/15 活動ホームシーサイド合同 地震火災想定訓練（49名）

3/7 同 地震津波想定訓練（35名）

3 災害時特別避難場所としての役割を認識するとともに、災害時のための物資を備蓄し、適切に保管しています。

4 利用者不在時対応マニュアルを作成し、法人全体で共有しています。

オ 事故防止への取組について

1 法人全体の事故事例報告を毎月の職員会議で共有し、リスクマネジメント担当者を中心に、事故防止について部門会議で検討し予防に努めました。

2 事故対応マニュアルをはじめとする、各種マニュアルを整備しました。

3 今年度の発生事故4件（通所介護：転倒1 車両3）については、対応策の考察と評価、体制の見直しを職員会議で実施しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人が設置する規程や取扱基準に示されている具体的な手順にもとづき、個人情報の適切な活用に努めました。

1 個人情報が含まれるケースファイルやデータ保存媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外の外部への持ち出しや机上放置の禁止を徹底しました。契約書等の外部持ち出しが不可欠な個人情報の取扱いについては、持ち出し／持ち帰り確認簿を用いた確認を行うとともに、訪問先から直帰しない等、事故防止に努めました。

2 パソコンはワイヤロックとともにパスワード設定を徹底しています。

3 個人情報が含まれる文書の回覧については、事務所の書庫を活用して受渡しを行い、机上に放置する事が無いように努めました。

4 職員はもとより、ボランティアや実習生にも守秘義務について説明しました。

キ 情報公開への取組について

- 1 法人が設置する規程にもとづき情報の公開に対応しています。
なお、本年度の開示請求はありませんでした。
- 2 窓口に関連用の決算書、個人情報取扱業務概要説明書、その他情報公開用資料を常設し、施設概要やサービス内容を見やすく、常に最新の情報を提供できるよう努めました。また、運営協議会やホームページにおいて予算・決算、事業内容等を公表しています。
- 3 通所介護と地域活動交流事業で、それぞれ毎月／隔月に広報紙を発行し、ケアプラザや利用団体の情報提供に努めました。

ク 人権啓発への取組について

- 1 業務的には、「虐待防止」「認知症の理解」「障がいのある方への配慮・理解」等をベースとした地域住民に向けた啓発講座を日常的におこないました。また、介護保険事業においては、業務マニュアルの中に倫理規程を設け「利用者本位」「自立支援」の方針に基づいた利用者支援（処遇）に努めました。
- 2 法人組織としては、「ワークライフバランスの奨励」や「ハラスメント相談窓口の設置」の取り組みをおこなっています。
- 3 施設を利用する住民の方々との対応のみならず、業務に従事する職員間であっても「互いを尊重し、相手に対する言動に配慮ができているか」をふりかえる機会を設けています。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランにもとづき、ゴミの少量化、資源の有効活用、地球温暖化防止等、全職員で環境に配慮した取り組みを行いました。

- 1 ゴミの少量化
貸館の利用者にはゴミの持ち帰りを励行しています。また、会議資料等について、参加人数を踏まえ余分に印刷しない、両面コピーの推奨等、省資源化を心がけ環境配慮に努めました。
- 2 資源の有効活用
ヨコハマ3R夢プランにもとづき、ゴミを排出する場合は適切に分別を行い、リサイクルを心がけました。また、リサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に活用しました。また、途上国のワクチン推進の為のエコキャップの回収を地域の協力により実施しました。
- 3 地球温暖化への対応
こまめな消灯やクールビズはもとより、廊下や階段だけでなく事務所においても照明の間引きを行うなど、節電に努めました。
- 4 その他の環境への配慮
職員の外出時は徒歩や自転車、公共交通機関を利用しています。また、会車使用時はアイドリングストップなどエコドライブを実施し、公共施設として模範となるよう努めました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 保健師 1名（常勤兼務）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤）
- ・ 介護予防プランナー 1名（非常勤）

《目標》

- 要支援1・2と認定された地域の高齢者の主体性を尊重し、行動意欲を高め、家族等や地域資源を活かしたプラン作成により、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう介護予防プランを作成しました。
- 「本人ができることはできる限り行うこと」を基本とし、ご利用者のできることをご利用者ととともに発見し、ご利用者の主体性を尊重し、無理のないプラン作成で意欲を高め、家族等の協力を得ながら、自立した生活が継続できるよう支援を行いました。
- 介護予防ケアプラン作成にあたっては、事業者との連携を図り、基本チェックリストなどの生活機能評価や認定審査会資料の情報をもとに、インフォーマルサービスを含めたプランづくりに努めました。
- 委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携および介護予防ケアプランの助言を行うことでご利用者の自立につながる介護予防ケアプラン作成に努めました。

《実費負担》

- ご利用者のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 介護予防支援事業所内で毎月定期カンファレンスを行い、事例検討を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
117	112	115	122	121	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
128	130	137	134	145	146

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 6名
（常勤兼務1名 常勤専従1名 非常勤専従3名 非常勤兼務1名）

《目標》

- 要介護認定を受けている在宅の利用者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ご利用者を取り巻く状況を総合的にとらえたご利用者主体のケアプラン作成に努めました。
- 法令遵守を基本とし、公正中立な立場で関係機関と連携をとり、多様で総合的なサービス調整を行ないました。
- 安心と満足につながる丁寧な支援プロセスをふまえ、ご利用者の自立支援と介護者にも無理のない、安定した介護体制づくりを支援しました。
- 地域の関係機関と連携し、より良いケアプラン作成を実施しました。
- 介護支援専門員として守るべき法令や倫理を自覚するとともに、更なる能力向上を図るため、内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めました。

《実費負担》

- ご利用者のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域の身近な相談窓口としての地域ケアプラザの機能を活かした総合的な支援を行っています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
142	143	139	136	135	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
140	139	140	138	132	134

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 介護サービス
- 送迎・入浴・給食
- 機能訓練
- 健康状態の確認

《実費負担》

● 1割負担分

（要介護1）	614円
（要介護2）	725円
（要介護3）	837円
（要介護4）	948円
（要介護5）	1,060円

- 加算額 入浴加算 54円
- 体制強化加算Ⅱ 7円
- 中重度ケア体制加算 49円
- 介護職員処遇改善Ⅰ 所定単位数に1000分の40を乗じた単位数を加算

- 食費負担 750円

- 行事費用（通常のプログラム以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10：15～15：20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤）
- ・生活相談員 3名（常勤・非常勤）
- ・看護職員 8名（非常勤・兼務）
- ・介助員 11名（非常勤）
- ・機能訓練指導員 8名（非常勤・兼務）
- ・運転員 7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めています。

ご利用者の意思を尊重し、心身の状況や環境に応じて自立した生活を送れるよう取り組みました。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力向上に努めました。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱うよう努めました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、積極的に職員研修を実施し業務の質の向上及び標準化を図りました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全を基本とした、質の高いサービス提供に努めました。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけています。
- 多くのご利用者に来ていただくため、各居宅支援事業所と連携をはかるとともに、機能訓練や認知症予防を重視したレクリエーションに力をいれました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
634	603	585	562	564	567
10月	11月	12月	1月	2月	3月
564	558	509	502	477	539

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 健康状態の確認
- 機能訓練
- 送迎・給食・入浴

《実費負担》

- 1割負担分 (要支援1) 1, 766円
(要支援2) 3, 621円
- ・体制強化加算Ⅱ (要支援1) 1ヶ月 26円
(要支援2) 1ヶ月 52円
- ・介護職員処遇改善加算Ⅰ 所定単位数に1000分の40を乗じた単位数を加算
- 食費負担 750円
- 行事費用（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤）
- ・生活相談員 3名（常勤・非常勤）
- ・看護職員 8名（非常勤・兼務）
- ・介助員 11名（非常勤）
- ・機能訓練指導員 8名（非常勤・兼務）
- ・運転員 7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にされた介護予防通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する介護予防通所介護事業所として、地域の要支援者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力向上に努めました。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱うよう努めました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、積極的に職員研修を実施し業務の質の向上及び標準化を図りました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全を基本とした、質の高いサービス提供に努めています。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」と「介護予防支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	11	12	13	14	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	11	9	12	14	17

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

全職員が相談窓口であるという意識を常に持ちながら、その都度親身になって対応できるよう努めました。

自主事業等を通じて、個々のニーズに対応することは、まだ不十分な部分がありますが、相談につながる案件を見逃さないよう、心掛けました。

今年度は、包括支援センター職員の長期欠員期間がありましたが、部門を超えて協力体制を取りながら相談等の対応にあたりました。

H28 相談・訪問実績：2,249 件（昨年比 ▲18%）

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援体制整備事業も含む）

1 5職種ミーティングを定例で実施し、各事業の進捗確認や地域の情報の共有を行いました。また、担当地区の支援計画について、区社協も交えて共有し、ケアプラザ全体で取り組むよう努めました。

2 個別支援から地域支援への展開は、職員の欠員もあり、未達成な部分もありましたが、地域ケア会議等を活用しながら、様々な関係機関を巻き込み、地域で支援する仕組みへの取り組み等を行うことができました。

3 職員体制・育成

常勤職員について、今年度は年度途中での退職者が出てしまい、速やかな補充に至りませんでした。新任職員に対しては法人の育成制度に則り、OJTはもとより、担当業務以外の業務についても（他部門の職員から）指導助言を行う体制を取っています。

法人で策定する「求められる職員像」は職種及び配属年数等で分けられ、現状確認を含めての振り返りとして本年度も実施しました。

4 地域福祉のネットワーク構築

より良い地域支援を実現できるよう、関係機関と連携を図り、協働対応を進めました。

1 地域に必要な支援を進めるべく、区社会福祉協議会と地区支援に関する打合せを行い、両者協働で「地区支援計画」を作成し取り組みました。

2 地区内のシニアクラブや元気づくりステーション、サロン、祭りなどに出向き、関係づくりを進める中で個別のニーズを探っています。また、「貸館説明会・交流会」を通じて、会場利用団体の関係構築を進めるとともに、館内の情報コーナーを昨年に引き続き見直しをしました。

3 地区別計画の推進にあたっては、区役所及び区社協、地区社会福祉協議会など関係機関と連携し取り組みました。

5 区行政との協働

地区支援チームの一翼として、金沢区地域福祉保健計画第3期推進にともなうプロセスに参画するとともに、地区推進連絡会の開催支援に取り組みました。

また、地域包括支援センターで関わるケースについては、都度、区役所担当部署と密にやり取りをしながら対応し、研修等についても関係者と連携し取り組みました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1 事業や講座時にアンケートを実施し、参加者からの意見を事業に反映しています。また、地区推進連絡会や地区の事業へ参加し地域の課題の共有に努めました。
- 2 所長をはじめ職員は積極的に出張相談や夏祭り等の地域主催事業に出向くように努めました。自主事業では、「子育てサロン」「子育て応援講座」「親子の食育」「障がい者青年学級」「医療講座」などを開催し、当事者の実状の把握に努めました。講座チラシや広報紙の配布等を通じ情報提供を行うことで、自治会町内会をはじめ近隣施設と協力し合える関係をつくりました。広報紙を年6回、今年度、より見やすくカラー作成としました。そのほか、事業の周知媒体として、広報区版や横浜カレンダーを活用しました。自治会未加入のため広報紙等の回覧・掲示がされないマンション等については、直接管理事務所にチラシを持参し周知依頼をしています。
- 3 会場利用登録団体や協力団体の活動・事業を広報紙に掲載し、地域に向けて情報を提供するとともに、ボランティア募集の支援を行いました。また、地域福祉団体の活動支援のため、助成金情報等を常時掲示しています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 「子育てサロン」「なごみサロン（世代間交流）」、「障がい者青年学級」「健康麻雀サロン（介護予防啓発）」、「コーヒーサロン（地域交流）」を自主事業として毎月実施し、様々な方が集える場を提供しました。11月には併設している地域活動ホームと共催で「ふれあいハウスフェスタ」を開催、多くの方の参加をいただきました。
- 2 「学校と福祉施設の連絡会」を富岡東ケアプラザ・区社協と共催し、福祉施設や学校等と顔の見える関係づくりを行いました。また、地域で組織された認知症サポーター「ロバの会」の活動支援を行いました。布おもちゃの貸出事業は子育て世代だけでなく、民生委員、障がい福祉団体、保育園等からも好評を得ており、関係づくりに役立っています。

3 自主企画事業

- 1 広報紙や館内掲示、講座開催時のチラシ配布等を通じて、ケアプラザで行われる講座やボランティア団体の活動をPRしました。
- 2 子育てサロンやなごみサロン、障がい者青年学級に加え、健康麻雀サロン、コーヒーサロンを自主事業として毎月実施し、様々な方が集える場を提供しました。（再掲）
- 3 地域の団体が行う、小・中学生対象の「認知症サポーター講座」への協力や、中学生の職業体験実習を積極的に受け入れるなど、福祉のすそ野の拡大に取り組みました。
- 4 「ふれあいハウスフェスタ」では、ケアプラザで活動している男性の料理グループ、コーヒーサロンのメンバーに協力を依頼し活動の拡がりにつなげています。
- 5 「ふれあいハウスフェスタ」の共催実施のほか、ケアプラザ主催事業の青年学級に、活動ホーム職員がボランティアで参加するなど、事業を通じた連携を図りました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 夏の「障がい児余暇活動支援事業」は大学生のボランティア活動の場も兼ねて実施しました。また、並木ティールームや介護予防事業では次の代のボランティア活動者を意識した内容を企画しました。
- 2 地域の方に、ケアプラザ事業へのボランティア協力を通して、育成・関係づくりを図りました。（「ふれあいハウスフェスタ」「健康麻雀サロン」「並木ティールーム」等）
- 3 中学校・大学からの体験学習や実習を積極的に受け入れ、将来の福祉人材育成に協力するとともに、ボランティア登録を積極的に勧め、新たな担い手の発掘に努めました。
- 4 将来的なケアプラザのボランティアコーディネート機能の強化を見据えて、地区社協、区社協、富岡東ケアプラザと「ボランティア養成講座」を実施しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

相談・問い合わせに対して適切・迅速に対応出来るように、資料及び相談票、相談者台帳を最新の状態に管理しています。また、訪問したケースについては「在宅援助記録票」を活用して記録・情報共有を行いました。

ケアプラザの強みを生かし、通所介護や居宅介護支援部門との連携を意識した業務遂行に努めました。また、毎月の職員会議でも必要な情報共有、部門間の連携を図りました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 1 年度初めに区社協と協同で地区アセスメントを行い、地区支援計画を策定しました。
- 2 自治会町内会が主催するサロン3ヶ所に毎月出席し、地域の高齢者や自治会町内会の方々との関係構築に努めました。自治会町内会やシニアクラブへの出張講座を実施しました。(10か所 のべ16回)
- 3 民生委員・児童委員との関係強化のための情報交換会を実施しました。
- 4 地区社協に対しては、金沢シーサイドタウン地区社協「ほのぼの」出張相談を毎月実施しているほか、「子育て支援：お父さんと遊ぼう」や「社会を明るくする運動」キャンペーン、富岡第一地区社協の「医療講座」などの事業に協力しました。このほか、シーサイドタウン地区の保健活動推進員の定例会に出席するとともに、各シニアクラブへの参加や、自治会の夏祭りで相談コーナーを担当するなど情報交換をしました。
- 5 地域ケア会議(6月)では独居で認知症を抱えた方の支援をテーマに話し合いました。
- 6 福祉保健活動団体相互のつながりが持てるよう「支えあい連絡会」(11月)の開催及び「貸館団体交流会」(12月)等にて情報交換や活動紹介の機会を設けました。
- 7 「いきいき金沢・ささえあいプラン」の推進にあたり、地域支援チームの一員として区役所や区社協と協働して打ち合わせ及び推進連絡会に参画しました。

実態把握

- 1 地区社協や自治会へ働きかけ「ほのぼの」と「並木一丁目第三住宅」で毎月相談コーナーを実施しました。また、自治会の夏祭りでの出張相談の実施(7・8月)、エリア内のシニアクラブでの健康講話や介護保険講座(5・6・7・9・10・11月)、行事へ参加(12・1月)し相談対応・状況確認を行いました。
- 2 民生委員との情報交換会の開催やシーサイドタウン地区の保健活動推進員定例会に参加し、相談し合える関係を築きました。
- 3 継続支援ケースについては、訪問してより詳細な実態把握に努めるとともに、日頃から関係機関と連絡・情報共有を図っています。
- 4 困難ケース等は行政機関やケアマネジャーと相談や同行訪問を行いながら支援しました。包括3職種間はもとより、民生委員や区役所、団地の管理組合にも協力を依頼しながら、より良い支援ができるよう努めました。
相談の中で見られる傾向としてはやはり「認知症」「独居」高齢者の課題が顕著(3月末時点での相談対応件数は2249件。認知症と独居のケースが半数強(1273件)を占める)であり、対応の際は、本人支援だけでは届きにくいので、親類縁者・ご近所・医療機関・区役所など関係者との調整を図ってきました。
- 5 また、家族支援の視点から、当事者だけでなく同居家族についても相談票に記録して情報共有し、支援を行いました。
ケアマネジャーや他機関に引き継いだ後も、継続支援できるよう常に状況把握に努めています。

2 権利擁護

権利擁護

- 1 自主事業でのミニ講座や、シニアクラブ等地域での会合に出向いて、後見制度の説明や悪質商法の注意喚起を行ないました。成年後見に係る相談実績は41件でした。
- 2 エリアの高齢者を対象に「相続」や「エンディングノート」をテーマにした勉強会を実施しました（6・11月）。
- 3 介護者のつどいを毎月開催し、おしゃべりの場と勉強会企画（6月「有料老人ホーム見学」、7月「お薬との付き合い方」、10月「栄養と認知症」等）を行いました。
- 4 新任ケアマネジャー対象の権利擁護の研修を実施しました。

高齢者虐待

日頃からケアマネジャーや地域の関係団体と情報交換の場を持っており、高齢者虐待に関しても、疑いの段階から相談が寄せられました。虐待（が疑われる）案件については区役所にも相談し、ケアマネジャーと連携しながら対応しています。

虐待に関する相談実績は9件（重複あり）で、主にケアマネジャーからの相談となっています。

事実関係の確認および関係者へのアプローチ、カンファレンスの開催を行なうほか、毎月実施している区との定例会において、ケースについて情報共有をしています。

認知症

- 1 ケアプラザの広報紙や出張講座、自主事業の企画など様々な場面で認知症を取り上げ、相談窓口のPRを行いました。
- 2 認知症関係の研修や会議には積極的に参加し、最近の動向や知識を得るよう努めています。その成果は所内で共有し、包括だけでなく、通所介護部門での研修や居宅介護支援部門での支援技術向上にも役立てています。
- 3 家族からの相談対応時に認知症について分かりやすく丁寧に説明し、認知症への理解を深めるよう努めました。
- 4 元気づくりステーションの中で認知症理解についての講座を実施しました。また、並木・富岡地区の自主グループ「ロバの会」の実施する、様々な世代（小学生、中学生、大学生、地域住民等）を対象にした認知症サポーター養成講座を後援し、ケアプラザの機能を周知しました。また、介護者のつどいでも「栄養と認知症」をテーマにした学習会を実施しました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- 1 シニアクラブ・サロンなどの活動の場へ出向き、介護予防・健康寿命に関する情報提供を行いました。今年度も新たに1か所のサロンでの介護予防の普及活動を行うことができました。（シニアクラブへ出張講座：「ロコモティブシンドローム予防・啓発」をテーマに実施）
- 2 地域交流部門と連携し、広報紙でもボランティア人材の募集を行いました。受け入れの際は、定期的な活動につながるよう、地域交流部門と共に調整を行いました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 エリア内10のシニアクラブ／町内会にて、18回の出張講座・ケアプラザ事業の周知を実施しました。自治会町内会が主催するサロン（お元気サロン、第三住宅サロン）に毎月出席しました。金沢シーサイドタウン地区社協、富岡東ケアプラザと共催で「ほのぼの」での出張相談を毎月実施しました。
シーサイドタウン地区保健活動推進員の定例会に出席しました。
- 2 富岡第一地区自治会・地区社協・富岡地域ケアプラザと共催で、11月に出張医療講座を開催しました。
- 3 民生委員とケアプラザとの情報交換会を、金沢シーサイドタウン地区では8月に富岡東地域ケアプラザと共催で実施。富岡第一地区では3月に民生委員とケアマネジャーとの交流会を富岡地域ケアプラザと共催で実施しました。
- 4 ひとり暮らし、高齢者夫婦世帯が困った時に相談先の支援者が分かるツールとしての「あんしん連携カード」を窓口で配布。ケアマネジャーや民生委員に積極的に紹介しました。

医療・介護の連携推進支援

- 1 区主任ケアマネジャー部会主催で、「ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会」を実施しました（9月）。北部主任ケアマネジャー（並木・富岡・富岡東・能見台）で共催し、「在宅医療連絡会」を2回（6月、1月）実施。多職種（医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、区役所、包括）での有意義な意見交換の場となりました。
- 2 区内の地域包括支援センターで協働して、「医療ソーシャルワーカーと包括との情報交換会」を3月に実施しました。
- 3 協力医による健康相談事業を実施しました。（年22回）また、ケアプラザ広報紙にて協力医による健康増進に関する記事を掲載しました。

ケアマネジャー支援

- 1 北部ブロック（並木・富岡・富岡東・能見台）で10月と3月に事例検討会を開催し、ケアマネジャー同士の連携とケアマネジメントのスキルアップを支援しました。
- 2 区主任ケアマネジャー主導で区内の居宅事業所リストを作成し、各包括、区役所に配布しご利用者のケアマネジャー選定の一助となるよう努めました。
- 3 ケアマネジャーとの同行訪問・サービス担当者会議への参加を、包括3職種で連携して行いました。また、日常的な相談対応についても、ケアマネジャーへの支援体制が構築できています。
- 4 北部エリア内居宅介護支援事業所を中心に訪問し、事例検討会の案内、ケアマネカフェの案内を手渡すとともに情報提供しました。
- 5 介護予防従事者研修については、区役所・区保健師部会・区主任ケアマネジャー部会とで、10月に「介護予防・日常生活総合事業」関連の研修を実施しました。
- 6 区ケアマネ倶楽部役員会に主任ケアマネジャーとして出席し、情報提供や支援を行いました。
- 7 新人及び就労予定ケアマネジャーに対し、主任ケアマネジャー部会において、研修会を9、11、2月に開催しました。また担当制による個別の育成支援も行いました。
- 8 北部主任ケアマネジャー共催で「ケアマネカフェ」を7月、11月に開催しました。情報交換や相談、ケアマネジャー同志の横のつながりをつくるなど幅広い支援を行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 1 個別レベルの地域ケア会議を6月に実施しました。
- 2 日常圏域の地域ケア会議を6月に実施しました。
包括圏域の地域ケア会議では、多職種（医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、区役所、包括）による認知症利用者の服薬について情報交換を行いました。

介護予防事業

介護予防事業

- 1 4か所の元気づくりステーションの支援を行いました。自主活動期の支援については、区役所と包括支援センターにて分担し活動状況の確認を行いました。
- 2 口腔・認知症は各1回講座を開催。栄養・ロコモティブシンドロームに関する講座は2回実施しました。会場もケアプラザだけでなく自治会集会所でも開催し、より参加しやすい工夫をしました。
- 3 10か所のシニアクラブ・自主グループへの出張講座を行いました
- 4 認知症自主グループ1か所への出張講座を2回と活動支援を行いました。また、認知症サポーターグループ「ロバの会」の活動に9回参加しました。
- 5 認知症に関する出張講座を、認知症予防ゲームを取り入れながら開催し、認知症への関心をもてるような普及方法にて実施しました。

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- 1 包括センターの相談や給付管理データなどから、要援護者の介護サービスへの意向や利用状況について確認をしました。包括センターと区役所との定例カンファレンスに臨席し、支援状況の情報共有をしました。
- 2 地区内のインフォーマルグループのリストを作成したほか、区社協や地区社協、近隣ケアプラザと協力し、活動グループの交流会を実施し、活動の実態把握に努めました。
- 3 シニアクラブにて生活支援体制整備事業についての講話及び困りごとアンケートを実施しました（6か所）。

圏域レベルの協議帯の設置・開催

- 1 金沢シーサイドタウン地区を対象に、ボランティア入門講座（地区社協、区社協、富岡東ケアプラザ共催）を実施。受講した方々に再度集まってもらい、地域の活動等について話し合う場を設けました。
- 2 今年度実施した「サロン団体交流会」「助け合い活動グループ交流会」は、「協議体」として位置づけませんでした。生活支援体制整備事業についてや生活支援コーディネーターの役割等の説明を行いました。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

担当地区の支援方針について、区社協と打ち合わせをし、共有を図っています。
また、区地域支援チームの一員として、各関係機関と情報共有しながら同じ方向性で地域への関わりを展開しました。

具体的な取組事項への着手

- 1 地区内で行われている活動に実際に参加しながら、生活ニーズの把握に取り組みました。エリア内のシニアクラブや自主事業にて生活支援体制整備事業の講話と困りごとアンケートを実施しました（8回）。
- 2 包括センター主催の「民生委員とケアプラザの情報交換会」にて、総合事業・生活支援体制整備の解説を行いました。
- 3 法人内の取り組みで、生活支援・介護予防についての、地域住民向けのわかりやすいPR ツールを作成しました。
- 4 地域の方から相談のあった「新規お食事会立ち上げ」について、参画させてもらい、実現に至りました。

その他

併設する「地域活動ホームシーサイド」と協働で、「ふれあいハウスフェスタ」や避難訓練（防災訓練）を実施しました。
また、定期的に調整会議を行うほか、今年度より「災害時の対応」について協議を行うようにしました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 並木地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	16,876	23,327	151	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	3,602	22,857	59,785	3,116	0
	その他	0	0	0	7,615	0	5,953		0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	7,615	0	0		0
	寄付金	0	0	0	0	0	150		0
	負担金	0	0	0	0	0	5,796		0
	その他	0	0	0	0	0	7		0
	収入合計(A)	16,876	23,327	151	11,217	22,857	68,854		5,789
支出	人件費	9,490	22,793	0	2,343	21,421	43,719		9,101
	事務費	1,011	1,906	0	12	73	223		
	事業費	281	11	151	4,069	677	19,284		309
	管理費	1,816	482	0		767	0		
	その他	1,773	4,436	0	3,636	0	4,441		0
	施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0		0
	消費税	759	0	0	0	0	0		0
	戻入	191	3,840	0	0	0	0		0
	予防プラン委託料	0	0	0	3,636	0	0		0
	その他	823	596	0	0	0	4,441		0
支出合計(B)	14,371	29,628	151	10,060	22,938	67,667		9,410	
収支 (A) - (B)	2,505	-6301	0	1,157	-81	1187		-3621	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	【目的】布おもちゃの貸出を通じた地域情報の把握とケアプラザのPR 【内容】布おもちゃの貸出 【対象者】子ども、高齢者、障がいのある方等の地域の方	通年 延べ利用1,236人
青年学級 Hello!	【目的】義務教育を終了した障がい者の余暇支援 【内容】写真クラブ・カラオケ・調理・交流会 【対象者】金沢区在住在勤の障がいのある方	通年 35回/415人
子育てサロンなみき	【目的】子育てのための仲間づくりと地域情報の提供 【内容】ボランティアの協力による子育てサロン 【対象者】未就園児と保護者	毎月第3火曜日 12回/395人
なごみサロンなみき	【目的】仲間づくりとシニアボランティアの育成 【内容】喫茶コーナーとフリースペースサロン事業 【対象者】地域の方	毎月第3火曜日 12回/486人
並木団いールーム	【目的】高齢者の閉じこもり防止と状況把握 【内容】高齢者の仲間づくりを目的としたサロン事業 【対象者】概ね60歳以上の地域の方	第2水曜日(奇数月) 6回/97人
並木・富岡東地区 学校と福祉施設 の連絡会	【目的】福祉教育推進等を目的としたネットワークづくり 【内容】関係機関相互の情報交換 【対象者】並木・富岡東地区の保育園や学校と福祉施設	5月17日 1回/19人
あけぼの幼稚園 交流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	5月 4回/52人
コーヒーサロン	【目的】新しい事業参加者の開拓と人材育成 【内容】コーヒーをツールとしたサロン(仲間づくり) 【対象者】地域の方	月1回 11回/86人

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みチャレンジ 「工作教室」	【目的】小学生の夏休みの余暇支援と他学年の交流 【内容】画用紙等身近な素材を使った工作教室 【対象者】近隣の小学生	7月27日 1回／14人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児 余暇活動支援 サマーフレンド	【目的】夏休みの余暇支援 【内容】障がいのある児童とボランティアの交流(昼食づくり、音楽) 【対象者】金沢区在住の学齢期障害児	8月9日 1回／21人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援 楽しいスポーツを しよう	【目的】障害のある子どもの余暇の充実 【内容】夏休みの障害児を対象とした余暇支援 【対象者】地域の障害のある子ども	8月20日・21日 2回／71人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の食育講座	【目的】食育を通じた親子の触れ合いとヘルスメイトのPR 【内容】食事についての講話と簡単な調理と実食 【対象者】小学校低～中学年のお子さんとその保護者	8月21日 1回／17人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタ ウン地区子供服交 換会	【目的】子供服のリサイクルと養育者の健康啓発 【内容】保健師による健康相談ブース、健康チェックコーナー設置 【対象者】地域の子育て中の養育者	9月2日 1回／81人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フレンド幼稚園交 流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	9月8日 1回／19人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3歳からの子育て 応援講座	【目的】子どものしつけ、叱り方などに悩みを持つ養育者向けの子育 て講座 【内容】コミュニケーション法、しつけのルール 【対象者】3歳以上未就園児童の保護者	9月23日、10月7 日 2回 49人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく 親子講座 ～ぷちぽけっと～	【目的】親子の仲間づくりと子育て支援 【内容】小物づくり・リズム遊び・歌遊び等のプログラム 【対象者】未就園児と保護者	10月11・25 2回／49人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
富岡第一地区 出張医療講演会	【目的】地域に向けた健康への意識づけ促進とケアプラザの周知 【内容】医療講演会「胃がん大腸がんの早期発見と内視鏡検査」 【対象者】地域の方	11月24日 1回／41人

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポートシステム説明会	【目的】子育てサポートシステムの周知協力 【内容】子育てサポートシステムの説明会 【対象者】利用希望者及び興味のある方	11月22日 1回／17人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動ホーム合同企画ふれあいハウスフェスタ	【目的】並木地域ケアプラザ及びシーサイドの地域への周知 【内容】食べ物屋台やフリーマーケット等で住民との交流 【対象者】地域の方	11月29日 1回／250人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館マニュアル説明会	【目的】会場利用マニュアルの理解 【内容】貸館ルール変更説明とケアプラザとの意見交換 【対象者】利用団体	12月2日 1回／22人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「お父さんと遊ぼう」	【目的】親子のスキンシップ、遊びのヒント、仲間づくり 【内容】プラレール等おもちゃ遊びと運動あそび指導 【対象者】未就園児とその保護者(父親限定)	12月4日 1回／45人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
講演会「夢をかなえるために」	【目的】小学生に向けた障害理解啓発講座 【内容】パラリンピックメダリストによる講演会 【対象者】小中学校生徒及び地域の方	12月13日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「子どもといっしょにコンサート」	【目的】親子の触れ合い、参加の場の提供 【内容】小さな子ども連れでも気兼ねなく参加できるコンサート 【対象者】地域の方(親子連れ)	2月7日 1回／64人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座 人形劇	【目的】人形劇活動団体の紹介とケアプラザのPR 【内容】人形劇のボランティアによる上演会 【対象者】小さな子どもから小学生高学年	3月12日 1回／70人

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業予算額					
	②のべ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
布おもちゃの貸出	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	1236人						
	0円						
青年学級Hello!	障害者	104,762	70,262	34,500	75,000	29,762	0
	415名						
	300円・400円						
子育てサロンなみき	乳幼児と保護者	6,629	6,629	0	0	0	6,629
	395人						
	0円						
なごみサロンなみき	地域の方	162,366	29,766	132,600	0	158,766	3,600
	486名						
	100円						
並木ティールーム	60歳以上の地域住民	38,631	32,231	6,400	18,000	20,631	0
	97名						
	0円～200円						
並木・富岡東地区 学校と福祉施設の連絡会	地域の施設・学校職員	0	0	0	0	0	0
	19人						
	0円						
あけぼの幼稚園交流会	近隣幼稚園	0	0	0	0	0	0
	52人						
	0円						
コーヒーサロン	地域の方々	20,072	12,172	7,900	3,000	17,072	0
	86人						
	100円						
夏休みチャレンジ事業 「工作教室」	小学生	6,617	5,317	1,300	3,000	3,617	0
	14人						
	100円						
サマーフレンド	障害児小・中学生	13,422	9,922	3,500	6,000	6,468	954
	21人						
	500円						
障害児余暇支援 楽しいスポーツをしよう	地域の方々	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	71人						
	0円						
親子の食育講座	地域の方	9,177	8,377	800	0	9,177	0
	17人						
	100円						
金沢シーサイドタウン地区 「子供服交換会」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	81人						
	0円						
フレンド幼稚園交流会	近隣幼稚園	0	0	0	0	0	0
	19人						
	0円						

平成28年度 自主事業収支報告書

3歳からの子育て応援講座	3歳以上未就学児と保護者	0	0	0	0	0	0
	49人						
	0円						
すくすく親子講座 “ふちぼけっと”	未就園児と保護者	4,535	2,535	2,000	0	4,535	0
	49人						
	100円						
出張医療講演会	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	41人						
	0円						
子育てサポートシステム 説明会	子育て養育者	0	0	0	0	0	0
	17人						
	0円						
活動ホーム合同企画 「ふれあいハウスフェスタ」	地域の方々	40,314	40,314	0	0	39,754	560
	250人						
	100円						
貸館マニュアル説明会	貸館利用団体	682	682	0	0	682	0
	22名						
	0円						
金沢シーサイドタウン地区 「おとうさんと遊ぼう」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	45人						
	0円						
講演会「夢をかなえるた めに」	地域の方	50,000	50,000	0	50,000	0	0
	370人						
	0円						
金沢シーサイドタウン地区 「子どもといっしょにコンサ ート」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	64人						
	0円						
すくすく親子講座 “人形劇上演会”	地域の方々	7,320	7,320	0	3,000	4,320	0
	70人						
	0円						
		469,527	280,527	189,000	158,000	294,784	16,743

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 「ステップアップ2」	【目的】高齢期の健康づくり・転倒骨折予防に取り組む 自主化したグループの後方支援 【内容】健康運動指導士による体操、ケアプラザ職員や協力医によるミニ健康講話、介護予防啓発など	4月～3月 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】月2回の健康づくり体操。介護保険・介護予防についてのミニ講座等の実施	5月～3月 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「音楽療法なみき 音楽倶楽部♪」	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】音楽療法士による音楽療法、運動、口腔ケア、栄養、認知症予防、権利擁護などミニ講座の実施	4月～3月 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】介護予防に関する企画講座等実施	4月～3月 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	【目的】地域包括支援センターが地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また地域包括支援センターの普及にも繋がる。 【内容】サロン・夏祭り等での出張相談	4～3月 13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	【目的】地域包括支援センターの周知、情報提供、地域の方との顔が見える関係づくり 【内容】地域包括支援センターとは・介護保険制度・介護予防・口腔ケア・認知症・ロコモ・スリーA・消費者被害・振り込め詐欺防止等	4～3月 18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	【目的】介護者同士の情報交換や知識を取得できる場を設定することで、介護者が介護による精神的及び身体的負担を一人で抱え込まないように支援する 【内容】 ・「おしゃべりサロン」(5月・8月・1月・3月) ・有料老人ホーム見学(6月) ・「お薬との付き合い方」(7月) ・「横浜市立大学管弦楽団コンサート」(9月) ・「栄養と認知症」(10月)※介護予防普及啓発事業 ・「セカンドライフと生命保険」(11月) ・「クリスマスお食事会」(12月) ・「腰痛予防体操」(2月)	5月～3月 11回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの出張相談	【目的】地域に向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。地区社会福祉協議会及び他の地域ケアプラザと連携した地域の実態把握 【内容】金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会が主催するサロン「ほのぼの」に出張相談窓口を設置し、富岡東地域ケアプラザと並木	4月～3月【毎月】 12回
「並木1丁目第三住宅」出張相談	【目的】地域に向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。自治会や地区社会福祉協議会と連携した地域の実態把握 【内容】並木第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を開設	4月～3月【毎月】 11回
地域ケア会議	【目的】介護保険事業・行政・地域関係者とのネットワーク形成 【内容】個別事例をとおして「支援」についての共通理解を図る	6月 1回
ロバの会 後方支援	【目的】地域住民主体の認知症サポーター活動グループの後方支援 【内容】学校や行政機関等に向いた認知症理解の啓発講座	4月～3月 7回
センターいきいき 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】介護予防に関する企画講座	4月～3月 24回
健康麻雀サロン	【目的】介護予防、閉じこもり予防、仲間づくり、地域参加 【内容】元気高齢者対象の麻雀をツールにしたサロン事業	4月～3月 22回
健康麻雀教室	【目的】介護予防、閉じこもり予防、仲間づくり、地域参加 【内容】元気高齢者で麻雀初心者対象にした入門講座	7～9月 4回
鳥海ヶ丘町内会敬老の集い	【目的】ケアプラザから距離のあるエリアの町内かとの連携強化 【内容】ケアプラザの見学と町内会の敬老会	9月18日 1回
「なみき音楽倶楽部♪」体験会	【目的】元気づくりステーション事業への参加者導入 【内容】なみき音楽倶楽部♪の体験会	2回 6名
助け合いグループ 交流会	【目的】地域で助け合い活動を行っている団体の把握とネットワーク作り 【内容】情報交換および地域包括ケア、地区内ネットワークへの協力依頼	12月18日 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者サロン交流会	【目的】地区内のシニアクラブ等サロンの活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】地域で活動するサロングループの交流と情報交換	11月5日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアグループ交流会	【目的】地区内でボランティア活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】グループの交流と情報交換	2月5日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
世代交流「味噌作り」講座	【目的】介護予防普及啓発(栄養改善)と世代間交流 【内容】味噌や麴についての学習と味噌づくりを通じての交流	2月12日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座	【目的】地域のボランティア活動者の発掘と育成 【内容】活動者の体験発表等新たにボランティア活動へ誘う講座	2月12日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	【目的】ボランティア活動への関心をつなぐ、客観的意見交換 【内容】入門講座参加者との座談会	2月12日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第一地区民生委員とケアマネジャーとの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】認知症や独り暮らし高齢者の情報共有	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区民生委員とケアマネジャーの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】介護予防・日常生活総合事業、生活支援体制整備事業の解説と地域で取り組みそうなことについての話し合い	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネカフェ	【目的】ケアマネジャーの交流・業務相談支援。主任ケアマネジャーとケアマネジャーの連携強化 【内容】情報提供、ケアマネジャー業務についての相談支援	7月、11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会	【目的】ケアマネジャーと薬剤師との連携促進。 【内容】意見・情報交換など	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主任ケアマネジャーネットワーク	【目的】区域の包括主任ケアマネジャーのスキルアップと連携構築 【内容】情報交換、スーパービジョン、事例検討	5月、9月、2月 3回

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業予算額					
	②のべ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
体操教室 「ステップアップ2」後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	301人						
	300円						
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後 方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	243人						
	1500円/年						
「音楽療法 なみき音楽倶楽部♪」 後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	367人						
	5000円/年						
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後 方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	299人						
	100円/回						
出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	217人						
	0円						
出張講座	地域住民・老人会など	13,500	13,500	0	13,500	0	0
	326人						
	0円						
介護者のつどい	介護者・地域住民	8,571	20,571	0	6,000	0	2,571
	151人						
	0円						
ほのぼの出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	48人						
	0円						
「並木1丁目第三住宅」 出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	55人						
	0円						
地域ケア会議	介護保険事業所口地域関係者	0	0	0	0	0	0
	7人						
	0円						
ロバの会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	487人						
	0円						
センターいきいき「元気づくり ステーション」後方支援	一般住民	0	0	0	0	0	0
	404人						
	200円/回						
健康麻雀サロン	高齢者	27,872	7,472	20,400	0	0	27,872
	319人						
	0円						
健康麻雀教室	高齢者	8,946	2,446	6,500	0	0	8,946
	55人						
	500円						

平成28年度 自主事業収支報告書

鳥海ヶ丘町内会敬老の集い	高齢者	0	0	0	0	0	0
	50人						
	0円						
「なみき音楽倶楽部♪」体験会	介護者・地域住民	0	0	0	0	0	0
	6人						
	0円						
助け合いグループ交流会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	14人						
	0円						
金沢シーサイドタウン地区 高齢者サロン交流会	地域の方	3,745	3,745	0	0	0	3,745
	19人						
	0円						
ボランティアグループ交流会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	24人						
	0円						
世代交流 「味噌作り」講座	高齢者	24,760	14,760	10,000	24,760	0	0
	20人						
	500円						
ボランティア入門講座	地域住民	6,843	6,843	0	5,000	0	1,843
	20人						
	0円						
ボランティア交流会	地域住民	3,015	3,015	0	0	0	3,015
	15人						
	0円						
富岡第一地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	32人						
	0円						
シーサイドタウン地区民生委員 とケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	2,172	2,172	0	0	0	2,172
	50人						
	0円						
ケアマネカフェ	北部エリアのケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	18人						
	0円						
ケアマネジャーと薬剤師との 情報交換会	薬剤師・ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	59人						
	0円						
主任ケアマネジャーネット ワーク	区内主任ケアマネジャー、他ケアマネジャー等	0	0	0	0	0	0
	51人						
	0円						
		99,424	74,524	36,900	49,260	0	50,164